

平成28年に誕生した 赤ちゃん♡



なか 嘉 とうのすけ
名嘉 湊之介 くん



にしめ じん
西銘 仁 くん



かみむら いぶき
神村 芽希 ちゃん



かのつ いっしん
嘉納 一芯 くん



がぶ のどか
我部 希和 ちゃん



よなしろ つきひ
與那城 月陽 ちゃん



なか かなさ
名嘉 かなさ ちゃん

野雨展望台から眺める朝日：仲地慶師さん(撮影)

伊平屋村人口動態

平成28年11月末現在

区 名	世 帯	男	女	合 計	1世帯当りの人口
田 名	123 (±0)	159 (−1)	134 (+1)	293 (±0)	2.38
前 泊	113 (+1)	127 (+2)	131 (±0)	258 (+2)	2.28
我喜屋	166 (−1)	172 (±0)	156 (−1)	328 (−1)	1.98
島 尻	134 (−1)	167 (−1)	127 (±0)	294 (−1)	2.19
野 雨	46 (−1)	43 (±0)	49 (−1)	92 (−1)	2.00
合 計	582	668	597	1,265	2.17人
増 減	−2	±0	−1	−1	



伊平屋村



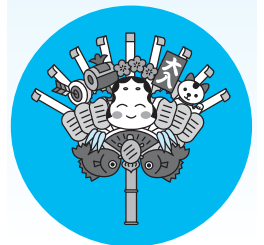
伊平屋村の HP へ
ジャンプできます





年頭の「ごあいさつ」

伊平屋村長 伊礼 幸雄



村民の皆様、明けましておめでとうございます。
村民の皆様には御家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

振り返りますと申年は、十二支の九番目の干支に当り昔から努力することによって願い毎が適うと言われ、暮らしが豊かになり夢と希望と活力に満ち溢れることを祈願しての船出でした。

伊平屋島観光協会が設立され、観光交流産業の総合窓口として、村総合推進室、村商工会との連携を密にし、民泊を受け入れる民家(民泊)の掘り起し、戸数の拡大を図り、一定規模の団体等を受け入れることができる状況となってきたことは本村にとって喜ばしいことであり、一步一歩着実に成果が表れています。又、伊平屋村産業連携拠点センターの管理運営を村商工会に委託し、村の玄関口として様々な分野で村内外からの活用等、若者の結婚披露宴としても二組が活用し、後に続くことに期待している所です。

さて、農業はと言いますと平成二十八年度は干ばつ・台風の襲来等も少なく、水稻・サトウキビはまずまずの生産量が確保出来たと農家の方が笑顔で話をしてくれました。

JAおきなわ伊平屋支店の製糖工場も年内操業を開始致し、にわかに活気づいてまいりました。玉ねぎの農家も緻密な努力によって伊平屋ブランドとして浸透して来たことは、評価したいかぎりです。

水産業に於いては、もずく・ヤイトハタが伊平屋村漁協のブランドとして拠点産地となると同時に特産品開発にも一段と磨きがかかってまいりました。

村の一大イベントであるムーンライトマラソンは、天気とにらめっこしながらの開催ですが、第十二回伊平屋ムーンライトマラソンも第二十大会の中止の影響があり、参加者が募集人員にはクリア出来ていませんが全体的には大成功に終わりました。村民の皆様あらためてありがとうございます。

公共工事については、発注件数・委託・工事も含め、五十件発注高で十七億円となり、順調に推移している状況にあります。ここに一括交付金の運用が表れています。

本村の二大交通網、海と空の交通アクセスについては、フェリーいへやⅢの就航により、利便性の

確保と快適な船旅を村民始め県内・国内の方々からも評価を得ています。

空港については、平成二十八年三月に大阪第一航空が栗国村にてパイロットの操縦ミス・事故が発生し、大阪第一航空による原因究明の報告がないとのことで栗国村への第一航空の就航(フライト)は認めない、又、新しい空港の採択もしないとの国の方針が示され、暗礁に乗り上げた状況になっています。ただ、時を待つのではなくあの手この手で北部十二市町村の後押しも受け要請行動を展開している状況であり、対策を立案している所であります。

本村の人材育成は教育委員会・村内三校が「人材を持つて資源となす」を合言葉に実践的な取り組みを展開し学力の底上げ等、島発ち教育の方向が見えてきた事、東大塾・てるしの塾(一括交付金起業家・人材育成事業)等の活用により一定の成果が表れてきたことは明るいことで関係者の方々に拍手を送ります。

引き続き村の課題である少子化対策・定住促進・人材育成・福祉の向上に行政・議会・各団体と調和を図り、幼小中の児童生徒が誇れる活力満ち溢れる住みよい「人づくり・物づくり・村づくり」を実践して参ります。

そのためには、村民の皆様のご意見ご提言が大きな力となりますので、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。村の発展と村民の皆様の御健勝と御多幸を願い、新年のあいさつと致します。

(二〇一七)平成二十九年一月一日



新年のごあいさつ

伊平屋郷友会(照るしの会) 会長 東江 米男



平成二九年酉年の輝かしい新春を迎えて、郷里の皆様にお慶び申し上げます。

伊平屋郷友会(照るしの会)は、昨年七月二日の定期総会で二年任期の役員の改選をしまして、新体制で活動しています。我が郷友会の年間の主なる行事として、ムーンライイトマラソンランソン支援資金と村育英資金造成のためのチャリティゴルフ大会を西原町の沖縄カントリークラブゴルフ場で九月三〇日に二三名の参加を得て盛会のもとに実施できました。ご協力いただきました会員始め協賛企業の皆様に御礼申し上げます。

次に年間行事として、会員の親睦を活発にする目的で親睦ボーリング大会を浦添市のてだこボーリング場で十一月二十日に行いました。久方ぶりに会員相互の交流ができて良かったと思っています。この行事も約百十人の参加で盛況にできました。参加者を始め協賛企業に感謝いたします。

その他に、中学生の本島での職場体験実習への協力、これから予定されている本島に進学している高校生を激励交流する会議も教育委員と共に行う予定です。この様に我が郷友会は、村役場が企画運営する事業を側面から、できる範囲で協働することとしていきます。

中でも、会員にとっては伊平屋空港の早期開港と伊平屋と伊是名を結ぶ海洋架橋の実現があります。空港は着実に進められおり、近く事業着手されるものと期待しています。架橋につきましては、長大海洋架橋で

あり膨大な建設費が見込まれているので、長期に渡る調査研究を要請してその夢の実現に協力できればと考えています。

伊平屋島は、海、山および耕地の天然資源の豊富な島です。かつての人口は、昭和一五年が二七〇〇人、昭和二五年が三九八五人、昭和三〇年が四〇〇八人と四千に到達した時代もありました。それだけの人口を養える潜在的な地力が備わっていると考えています。この島の豊かな資源を再開発して種々の事業を起こして、人口減少に歯止めをかけて、我が島が発展することを願っています。

今帰仁城の城壁から北の海を展望すると、実に美しい伊是名伊平屋諸島の姿が展望できます。古き時代に今帰仁城主が伊平屋伊是名に進軍したとも言われています。伊平屋伊是名の北の近海には、有望な海底資源が埋蔵していると国の機関が海底探査船で継続して探査しています。この先、三〇年から四〇年後にはそれが実用化されて我が島が飛躍的に発展する初夢を見たいものです。

さて、昨年七月一日に念頭平松が国指定天然記念物に指定されて、素晴らしい祝賀会が現地で開催されました。ムーンライイトマラソンで来島された人達が口コミで平松の優美な樹形を伝えてくれますと伊平屋島観光が更に発展すると期待しています。結びに、伊平屋村の益々の発展と村民皆様の御健勝と御多幸を祈念いたします。

平成二九年 一月一日



一年の計は元旦にあり!!

伊平屋村教育長 東恩納 吉一



新しい年二〇一七年がスタート致しました。村民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

ここ数年、台風の影響も大きく受けず、農作物や水産業等が豊作となり、活況溢れる本村の豊かな明日を永遠にと祈念したいものであります。

さて、昨年は、オリンピックの年で、日本中が感動の波で揺れ動いていました。一つのを日々努力して身に付けた超一流の力と技は、観る人の心を捉えて離さない魔法の力でしょうか。だからこそ、一億総国民の心の絆となり得るゆえんだと思われれます。

ところで、村民の皆様には旧年中本村教育委員会の施策推進に、限らないご支援ご声援を賜りました。お陰様で、確かな教育が実現しつつあると確信しております。また、島を訪れる多くの方々からも、「人間として大切なことが伊平屋の児童生徒は身に付けている」との評価を耳にする機会が確実に増えております。

この事は、学校生活で先生方がしっかりと「当たり前の事があたりまえにで出来る」指導と、併せて家庭・地域の方々のためまぬご支援と、相互の連携協力が行き届いている証です。関係の皆様、衷心より感謝を申し上げます。

本村教育委員会は、「島発ち教育」の柱で

ある「気づき・考え・行動する」児童生徒の未来に夢多く抱かせる「施策」を年々パワーアップして強力に推進し、沖縄一及び日本一の教育村にすべき強い決意を持って邁進しております。

また、文化スポーツ面では、児童生徒は大活躍であります。文化面では、伊平屋小学校が新聞活用優良校に選ばれました。中学校では、野甫中・伊平屋中学校において英語検定で準二級・二級もでております。スポーツ面では、伊平屋中学校卓球部男子の団体・個人において国頭地区優勝は記憶に新しいものと思われれます。本年度は、野甫中学校の剣道個人三位がありました。伊平屋中学校では、新人大会においてバレーボール部男子が優勝いたしました。学校は文武両道の花が咲き誇っております。

さらに、スポーツ施設の友愛と健康の広場を村民の皆様が健康増進に活用できるよう整備いたしました。ウォーキングコースも見事に完成しております。多くの村民の皆様を活用を期待いたします。

結びになりますが、「物の豊かさから心の豊かさへ、暮らしは低く思いは高く」を、志に「人材は資源となり」を力強く推進する決意であります。村民の皆様、心身の健康と心豊かで幸せな新年になりますよう祈念申し上げます。



第 23 回 各支部対抗球技(男女別ソフトボール)大会

11月13日、田名ふれあい公園で第23回 各支部対抗球技(男女別ソフトボール)大会が開催されました。この大会は、村民の健康増進と技術の向上、スポーツ精神を養い、相互の親睦を図る事を目的とし開催されています。また、今大会には初出場の参加者も多く、新しい面々で熱戦が繰り広げられました。女子では、ホームランも飛び出し大会を大いに盛り上げました。



▲ナイスミート！



▲第一球投げました！



▲敢闘賞：西江喜伴選手



▲打撃賞：新垣健選手



▲優勝：田名チーム



▲ MVP：名嘉利通選手



▲判定は！？



▲初出場初キャッチャー♪



▲打撃賞：名嘉あずさ



▲敢闘賞：西江侑美



▲優勝：前泊チーム



▲ MVP(最優秀賞) 藤田智恵子

伊平屋村の名所紹介

《念頭平松編》

【念頭平松の歴史】

- 1937(昭和12)年 県山林会により「老樹銘木誌」に登録
- 1958(昭和33)年 琉球政府により天然記念物に指定される(1月17日)
沖縄本島に在住する村田名出身者の郷友会が「平松会」を発足
- 1983(昭和58)年 日本の松の緑を守る会の「日本の名松・100選」に選定
- 1990(平成2)年 新日本名木100選に選ばれる(国際花と緑の博覧会協会)
- 1999(平成11)年 平成11年の年賀郵便絵はがきに描かれる
- 2002(平成14)年 おきなわの名木百選における「名木」に認定。
- 2015(平成28)年 国指定天然記念物に選ばれる。(沖縄一の大きな松)

☆「念頭平松ぬ 枝持ちぬ美らさ 田名の美童ぬ 身持美らさ」大田名節の歌詞にも出てくるように、念頭平松の枝ぶりの美しさは、古くから歌の歌詞としても親しまれている。

※その他「伊平屋名所口」(作：宮城八郎)、「伊平屋の旅」(作：安里千代蔵)など。

- 樹齢 約300年
- 高さ 8m ○幹の太さ 4.5m ○枝の最長幅 28m





離島フェア 2016



11月25日～27日にかけて、沖縄セルラーパーク那覇で「離島フェア 2016」が開催され、本村からも伊礼 清副村長はじめ多数の方々に参加しました。

伊平屋村のブースには、伊平屋村漁業協同組合、JA おきなわ伊平屋支店、海産物料理 海魚、伊平屋の魅力発信隊(伊平屋酒造所・藤田食品・漁協)、いへや「薬草王国 野の菜女王国」物語などが出展。メインステージではチムドンキッズシアターの子どもたちが現代版組踊の演舞を披露しました。また今年度は、村漁協の「島クラッカー&ディップソースセット」が優良特産品として優秀賞を受賞し、29日には村漁協より諸見組合長と職員が村長室を訪れ、伊礼幸雄村長へ受賞報告をしました。なお、この商品は村漁協の売店や那覇空港・国際通りのわしたショップで販売しており、ふるさと納税の商品としても使用されています。



▲離島フェア 2016 開催



▲伊平屋村 PR コーナー



▲出展の様子



▲海底貯蔵酒



▲アサヒガニ



▲チムドンキッズシアター



▲優良特産品優秀賞報告

おゆうぎ会 in 伊平屋保育所♪

12月3日、伊平屋村産業連携拠点センターで伊平屋保育所の「おゆうぎ会」が開催されました。

「えがお あふれる おゆうぎ会」をテーマに全園児による歌で始まり、各クラスの演舞では、個性的な可愛い衣装に身を包み、ダンスなどを披露しました。また、保育所職員のダンスや保護者の合唱でも大いに会場を盛り上げ、来てくれた多くのお客さんを楽しませていました。毎年毎年、成長していく子どもたちの姿をみることのできる楽しみな会となっています。園児の皆さん、職員の皆さん準備・本番もお疲れ様でした。





島発ち発表会

12月10～11日にかけ、伊平屋村離島振興総合センター・体育館、村内3校・幼稚園で、「高めよう 自分の可能性を 深めよう 島んちゅの絆を！」をテーマに、『島発ち発表会』が開催されました。

1日目には沖縄県教育庁義務教育課前課長の犬城 朗氏をお招きし「伊平屋の宝と15の島発ち～人材を以て資源となす～」と題し、特別講演会が行われました。講演会終了後には、産業連携拠点センターにてお茶席の開設、緑間バレエスタジオによるバレエ特別公演も行われました。2日目には、村内3校・幼稚園で授業参観、その後総合センターにて各部会による活動報告、海外短期留学・IEDCP・子ども会の活動報告が行われました。また、体育館では2日間にわたり、学校給食紹介やパネル・作品展示のコーナーも設置され、今年度は婦人会・老人会の作品も多く展示されていました。講評では、沖縄教育を語る会の緑間禎氏よりお言葉を頂き、保護者・地域の皆さんにとっても子どもたち一人一人の頑張っている学習の成果を見ることができた良い機会となりました。



▲犬城 朗氏



▲緑間 禎氏



20年ぶりの優勝旗に歓喜!!

高田蓮くん個人戦3位入賞!!

12月3日～4日にかけ開催された「第43回国頭地区中学校新人総合体育大会バレーボール競技大会」で、伊平屋中学校の男子バレーボール部が優勝を果たし、大会を終え5日に帰島。保護者・学校関係者・全校生徒・地域の方々に迎えられ祝福をうけました。男子バレーボール部の優勝は、1996年以来、20年ぶりとなります。帰島後には伊平屋村役場を訪問し、優勝報告。村長はじめ教育長、多くの方から祝福の言葉を頂きました。なお、選手の皆さんは1月に開催される県新人大会へ派遣されます。また、野間中学校剣道部が「第43回国頭地区中学校冬季新人剣道競技大会」へ出場し、高田蓮くんが個人戦で3位入賞を果たしました。村民の皆様、今後も子どもたちの応援よろしくお願いします。



▶高田 蓮くん



ホームページ講習会

11月11日、伊平屋村産業連携拠点センターで「ホームページ講習会」が開催されました。

「お店や会社の情報発信をしてみよう～ホームページの発信効果で伊平屋の来島者を増やす方法～」をテーマに、オフィス森江の代表である森江直子氏をお招きし、情報収集に利用されるインターネットのサイトや情報発信のツールのさまざまな種類を通して、ホームページをどのように活かすことができるかなどを説明して頂きました。また、村内の飲食店や宿泊施設の方々から情報発信しているお店や宿泊施設などのサイトに対してもアドバイスを頂きました。村商工会では、このようなセミナーを通して伊平屋村の活性化に力を入れています。



三校合同研修会

11月15日、野甫小中学校体育館で「三校合同研修会」が行われました。

この研修会では、比嘉亮先生の「一対一での授業をぜひ観てもらいたい」という思いから、中学2年生の国語の授業を他校の先生に観てもらいました。また、研究授業後には全体会も行われ、村内3校の教職員らでさまざまな意見が交わされた良い機会となりました。伊平屋村では、このような3校合同研修会を年に数回行っており、幼小中の連携を図る機会をつくっています。



塵芥車譲渡式

11月22日、伊平屋村役場村長室で「塵芥車譲渡式」が執り行われました。

まず、はじめに伊礼清副村長より開式通告及び経過説明が行われ、有限会社 中央環境サービス社 代表取締役 眞壁隆氏よりこの度の譲渡にあたり挨拶を頂きました。その後、目録キー贈呈と契約書類の受け渡しが行われ、伊礼幸雄村長が感謝の言葉が述べました。貴重な塵芥車(4トン)を譲渡して頂いたのは、伊平屋村田名出身の伊禮康秀さんの紹介によるもので、今回の譲渡式にも立ち会って頂きました。なお、この譲渡された塵芥車は今後、伊平屋村の自然環境を守る活動等に利用されます。

▼譲渡された塵芥車前で記念撮影



▲塵芥車目録キーの贈呈



食品衛生・食物アレルギー講習会

11月29日、伊平屋村産業連携拠点センターで、伊平屋島観光協会主催による「食品衛生・食物アレルギー講習会」が開催されました。

昨年度に引き続き、QSC サポート(食品の衛生・品質管理をお手伝い)代表の屋比久善昭氏を講師としてお招きし「食品の取扱い施設における衛生管理(PRPは衛生管理の前提条件)」をテーマに講習会が行われ、講習会内容として「食品の危害になるもの」「安全安心な食品提供のための食品の安全保障、一般衛生管理の重要性」「ノロウィルス対策について」など、ていねいに説明して頂きました。



▲講師：屋比久 善昭氏



お店屋さんごっこ

伊平屋幼稚園

11月9日、伊平屋幼稚園で「お店屋さんごっこ」が開催されました。

「自分たちで制作した商品を並べ、売り手となりお客さんとの触れ合いを楽しむ。あそびに必要な言葉を知り、正しい言葉の使い方を体験する。さまざまな人と交流を図り豊かな心を育む」ことを目的とした行事で子どもたちは、おもちゃ屋さん・お弁当屋さん・釣り堀・カフェなどのお店を出店。伊平屋保育所のきりん組・ばんび組の園児らや伊平屋小学校の一年生の児童、伊平屋小教職員や保護者を招き、お店屋さんごっこを楽しみました。



たまねぎ植え付け体験



11月14日、野甫小中学校近くの畑で伊平屋村の特産品である「たまねぎの植え付け体験」が行われました。

この植え付け体験には、野甫小学校の2年生から5年生の児童13人が参加し、2年生は生活科・3年生以上は総合学習の時間を利用して学習が行われました。児童らの中には、以前植え付けを体験したことのある子もいて、慣れた手つきで植え付けしていました。また、上の学年が後輩へ教えてあげる姿も見られ、みんなで協力している姿が印象に残りました。



伊平屋中・野甫中合同 合唱コンクール

11月14日、伊平屋村離島総合センターで「合唱コンクール」が開催されました。

伊平屋中・野甫中の全生徒が、各学年に分かれ自由曲と課題曲を実演。自由曲では、1年生「遙かな季節」・2年生「大切なもの」・3年生「あなたへ旅立ちに寄せるメッセージ」を、課題曲では「COSMOS」を実演しました。アトラクションでは、生徒らによる琉球舞踊「かぎやで風」の演舞や伊礼日向子さんによるピアノ独奏「雨の日の噴水」が披露され、野甫中学校の生徒らによるイントロクイズで会場を盛り上げました。また、20日には「第22回 沖縄県中学校総合文化祭」へも参加しました。



▲金賞を受賞した中学3年生

島あっちいモニターツアー

11月14～16日にかけて、伊平屋村で「離島観光・交流促進【島あっちい】事業」が行われました。

沖縄県企画部地域・離島課主催の離島観光・交流促進事業では、沖縄県内の19の離島で78の体験プログラムを計画。「島を知る・感じる・ふれあう！」をテーマにモニターツアーが行われています。伊平屋村でも「伊平屋島海人体験～夜の海(イザリ)漁体験～」や「ウッカー城(田名城)散策(島のスイーツを休憩で食べる)」などのさまざまなプログラムを実施しています。





移動消防学校 in 伊平屋

15日～16日にかけ、伊平屋村で「移動消防学校」が開催されました。

沖縄県消防学校より仲村常司教官、徳山博幸教官をお招きし、伊平屋村消防団員7名を対象に訓練礼式や火災防御訓練、救急実技訓練などの実技実践指導等が行われました。団員の皆さんは、これまでもさまざまな市町村をまわり指導してきた仲村教官や徳山教官からさまざまなアドバイスを頂くことができました。村消防団は、月に数日にわたり訓練を行っており、今後も伊平屋村の安全を守っていきます。



▲訓練礼式を学ぶ団員



▲訓練終了

焼き芋パーティー in とらず園

11月18日、伊平屋村生活支援ハウス(通称:とらず園)で、焼き芋パーティーが行われました。伊平屋幼稚園の預かり保育の園児たち7人を招き、利用者の皆さんととらず園職員、幼稚園児みんなでホクホクのお芋を美味しくほお張り、焼き芋パーティーを楽しみました。お芋を食べた後には、利用者へのプレゼントとして幼稚園児より「島んちゅの宝」の歌が贈られました。また、とらず園職員と幼稚園児たちによるダンスも披露。利用者を喜ばせ、笑顔あふれる楽しい交流会となりました。



伊平屋保育所 避難訓練

11月22日、伊平屋保育所で「避難訓練」が行われました。今回は防災の意識を高めるため、事前に告知せず非公開の訓練を行いました。火災警報器が鳴ると不安そうな表情を浮かべ、一斉に先生の元へ駆け寄る園児。避難指示後、速やかに園庭へと誘導する先生らの姿には「もし災害が起きてしまったら」という強い意識を感じました。園庭を出て、第二避難所へ向かう道のりでも安全に気を配り避難。非公開にもかかわらず数人の保護者も駆けつけました。消防団による消火器の使い方の説明もあり、災害へ対し意識の高まる訓練となりました。



一輪車教室 in 伊平屋幼小

11月24日、伊平屋小学校体育館で「一輪車教室」が開かれました。

伊平屋小へ2回目の赴任となる黛校長が以前赴任していた際の元一輪車クラブの教え子であり現在では保護者となった嘉納一さん・伊礼幹弘さん・国吉善希さん・仲川清春さん・桃原建さんと好美さん夫妻が講師となり、伊平屋小5年の国吉星南さん・4年の國吉彩良さんを交え、伊平屋幼稚園・小学校の園児児童へ一輪車のさまざまな技、風車やトンネル、難易度の高いバックなどを披露しました。その後、各学年に分かれ自分に合った一輪車を選んだ後、乗り方についても教えてもらいました。



適切な 110 番通報のお願い

1月10日は『110番の日』です。本部警察署



○110番通報は、事件・事故等、緊急を要するときに使用するものです。○イタズラ電話や間違い電話をすると、本当に助けを必要としている方の通話ができなくなる事があります。○イタズラ電話は絶対にしないようにお願いします。

※緊急時以外の相談等については #9110 を利用してください。



頑張る伊平屋っ子

11月6日、米空軍嘉手納基地で「第16回 嘉手納スペシャルオリンピック」が開催されました。

この大会へ伊平屋村出身の比嘉斗吾くんが出場し100メートル走で3位に入賞しました。斗吾さん、おめでとうございます。



新春の集い

日時 平成29年1月11日(水)午後6時から

場所 伊平屋村産業連携拠点センター

会費 男性3千円、女性2千円

【お問い合わせ】

伊平屋村商工会

☎ 0980 - 46 - 2912



出初め式



日時 平成29年1月12日(木)午前10時から

場所 前泊港

○村消防団員による一斉放水も行われますのでぜひお越しください。

【お問い合わせ】 伊平屋村役場 総務課

☎ 46 - 2001

伊平屋村の行事予定表

1 月	主なスケジュール	備考
1日(日)	元旦 成人式	
2日(月)	生年祝い	
4日(水)	仕事始め	
5日(木)	始業式・書き初め会(伊中)	
6日(金)	始業式・書き初め会(伊小・野甫小中)	
9日(月)	成人の日	
10日(火)	予防接種	
11日(水)	新春の集い 校内マラソン大会(伊小) もちつき(保育所)	
12日(木)	消防出初め式 ミニディ(我喜屋)	
13日(金)	ミニディ(前泊)	
14日(土)	新春いへやトリムマラソン大会	
16日(月)	十六日	
18日(水)	弁当の日 伝統文化学習の日	
20日(金)	二十日正月	
23日(月)	ミニディ(田名)	
24日(火)	演劇鑑賞会(保育所・伊幼小・野甫小) ミニディ(島尻)	
26日(木)	境港交流学习(～30日)	
28日(土)	第1回伊平屋ヴィレッジトレイル	
31日(火)	国保税納期限(第5期分)	

2 月	主なスケジュール	備考
2日(木)	ミニディ(我喜屋)	
3日(金)	節分(幼・保) ミニディ(前泊)	
4日(土)	伝統文化学習発表会	
7日(火)	予防接種	
11日(土)	建国記念日	
13日(月)	ミニディ(田名)	
14日(火)	ミニディ(島尻)	
15日(水)	乳幼児健診 弁当の日 伝統文化学習の日	
17日(金)	少年を守る日	
18日(土)	おきなわ地域教育の日	
19日(日)	家庭の日・ファミリー読書	
21日(火)	予防接種	
24日(金)	こころの健康相談(PM)	
25日(土)	こころの健康相談(AM)	
28日(火)	国保税納付期限(第6期分)	